



社会科学の実践

Virtual

職業と学び—キャリアデザインを考える

講師：レンゴー株式会社 代表取締役会長兼CEO 大坪 清
神戸大学凌霜会・六甲台後援会寄附講義「社会科学の実践」
2020年10月2日（金）於：神戸大学

皆さんこんにちは。

先ほどご紹介いただきましたとおり、私は1958年に神戸大学に入学しました。在学中はほとんど勉強せず、バレーボール一筋でした。当時神戸大学のバレーボール部は3部でしたが、1部まで引き上げました。これは自慢できる話ではないかと思っています。皆さんはご存知ないかもしれませんが、日本に初めてバレーボールという競技をアメリカから導入したのは神戸大学なのです。そのような伝統を受け、当時は国公立大学の中では本当に強い大学の一つであり、私が神戸大学に入学した理由でもあります。

勉強はほとんどしませんでした。自慢の一つは、田中薫教授のゼミに入り、アダム・スミスの『国富論』（An Inquiry into the Nature and Causes of the Wealth of Nations）の原書を、2年間かけて読破したことです。

私が社会人になってからずっと感じていることですが、日本の経済界で活躍しておられる神戸大学の3学部の卒業生は非常に多いです。レンゴーも神戸大学の卒業生を採用していますし、現在レンゴーの役員を務めている方もいます。

私が社長に就任した2000年当時のレンゴーの連結売上高は3,000億円程度でしたが、今は7,000億円になろうとするところまでできており、2025年には1兆円規模の会社にしようと思っています。7,000億円はグループ内の取引を消去した「連結消去後」の売上高であり、グループ内取引も含めたレンゴーの実力はどのくらいかということ、9,500億円くらいの事業規模となっています。

さて、世界中で今現在最大の問題となっているのは、何といても新型コロナウイルスです。世界中でパンデミックの状態になっています。皆さんもニュースを聞いてご存知のように、アメリカのトランプ大統領夫妻もついに陽性となりました。

果たしてこの新型コロナウイルスとはどのような感染症なのかということについて、皆さんにも基本的な知識を持ってほしいと思います。感染症の権威で、大阪大学の前総長である平野先生に、新型コロナウイルスについて詳しく教えていただきました。

新型コロナウイルスは2002年に広東省で発生したSARSが変異したもので、武漢で発生した今回のウイルスはSARSナンバー2である、と平野先生は分析しておられます。では、SARSとは何でしょうか。SARSという言葉は皆さんも耳にしたことがあると思いますが、SARSという言葉が何を指すのか、SARSという言葉自体を分析している人はあまりいないでしょう。

そのような分析、正確に分析する努力を行うということが、皆さんにまずやっていただきたいことです。学ぶということは、実態を知るということです。世間でいわれていることを聞いて、あとはインターネットで検索してそれで終わりということではなくて、まず自分で考えるということをお願いしたいと思います。

SARSという言葉は、アクリニム (acronym) です。アクリニムとは『頭字語』、すなわち単語の頭文字をつなげて作られた言葉のことです。SARSもまさしく四つの言葉を合わせて出来上がっています。最初のSは「severe」、Aは「acute」、Rは「respiratory」、最後のSは「syndrome」です。これを日本語にすると、「severe」は重症、「acute」は急性、「respiratory」は呼吸器の、「syndrome」は症候群です。『重症急性呼吸器症候群』というのがSARSです。

SARSナンバー1は鳥が発生源となりました。これは完全に抑え込むことができました。今回の新型コロナウイルスの発生源となったとされるコウモリは哺乳類です。SARSナンバー2である新型コロナウイルスはナンバー1から形が変わったウイルスであり、非常に手強いものです。

新型コロナウイルスに対してどう対応していくかが重要ですが、ワクチンも完成しておらず、対症療法 (therapy) も確立されていません。このような状況下において、ワクチンや治療法の開発が世界各国で行われているわけですが、ようやく治療薬については出来上がりつつあります。あとはワクチンをどういう形で完成させていくかということになります。この2つが出来上がれば、新型コロナウイルスもSARSナンバー1と同じような形で抑えきれのではないかと考えています。

ただしwithout コロナにはならず、with コロナの状態となります。風邪やインフルエンザと同じように、with コロナを前提としていかざるを得ない状況になってきています。すなわち、ニューノーマル (新常態) の社会構造を作らなければならないということです。産業界、経済界、社会全体が、新常態を作っていくのにどうしていったらいいかということを実際に考えなくてはなりません。

アクリニムについて、全然意味を知らないまま使っている人が非常に多いように思います。例えば、新型コロナウイルスに対する「PCR」検査という言葉があります。この「PCR」はまさしくアクリニムです。「PCR」とはPolymerase Chain Reaction (ポリメラーゼ連鎖反応) の略で、少量のDNAを連鎖的に増幅させる技術のことをいいます。

他には、自動車を運転する時に「ETC」あるいは「GPS」という言葉も出てきます。こういう言葉を全然理解せずに使用しているのが実態ではないでしょうか。皆さんにも、アクリニムをよく理解していただきたいと思います。

また、勉強する際においても、自分がやっている勉強そのものについて、あるいは自分が行っていることを、自分で考えるようにしてください。とにかく自分で考えて、自分が今いる立場がどのようなものであるかということも、よく理解してほしいと思います。

皆さんは苦勞して神戸大学に入学し、いろいろと勉強されていると思います。「四苦八苦」という言葉がありますが、それでは「四苦八苦」とは一体何でしょうか。「四苦」、四つの苦勞とは何でしょうか。このようなことも疑問に感じ、自分で考えるようにしていただきたいです。

「四苦」とは、「生老病死」を指します。生まれて、年を取って、病気になって、そして死んでしまう。この四つが「四苦」です。

では残りの四つは何でしょうか。一つは「愛別離苦」（あいべつりく）です。自分が愛している人と別れなければならぬ苦勞というものが人生には必ずあります。これを「愛別離苦」と言います。

残り三つのうちの一つは「怨憎会苦」（おんぞうえく）です。「怨憎会苦」とは、自分が嫌っており絶対に会いたくないという人にも会わざるを得ない、そのような苦勞を指します。

それから「求不得苦」（ぐふとくく）です。これは自分が求めているものを得られない、そのような苦しみを指します。

最後は「五蘊盛苦」（ごうんじょうく）です。「五蘊」（ごうん）というのは人間の持っている身体、欲望のことです。身体が欲する欲望を抑えることができない苦勞、これを「五蘊盛苦」と言います。

これが「四苦八苦」です。皆さんも本当の意味で「四苦八苦」を理解し、これからの生活を送っていただくことが、本当の意味での仕事だと思います。

日本人は宗教心が非常に薄くなっているといわれます。例えば、キリスト教には聖書があり、イスラム教にはコーランがあります。日本の場合には、それらに匹敵するような書物や教えはあるでしょうか。これを最も端的にまとめているものがお経、「般若心経」です。

「般若心経」というのは非常に短い文字数、具体的には266文字で出来上がっていますので、皆さんにも読んで理解できるようになっていただきたいと思います。この「般若心経」の中に「四苦八苦」が出てきます。「四苦八苦」の「四」、言い換えると「四諦」（したい）というのは「苦集滅道」（くじゅうめつどう）という言葉で出てきます。この「苦集滅道」を中心に出来上がっているのが「般若心経」です。

「般若心経」の「経」という字にはどのような意味があるでしょうか。緯度は横軸、経度は縦軸を示しますから、お経の「経」は縦軸ということです。縦に軸があるお経を勉強の糧にして、自分の生活を哲学的に理解していくという努力も必要です。人間形成の中で宗教心は大変重要な要素です。いま日本人に最も不足しているのは、そのようなところではないかと思っています。

「三世十方」（さんぜじっぼう）という言葉があります。「三世」とは三つの世代、「十方」とは十の方向、ということです。「三世」は過去・現在・未来を表します。今皆さんは大学1年生、2年生だと思いますが、やがて卒業し、社会人となり、次の時代へと進んでいきます。この過去・現在・未来という時間軸はいわば無限であると考えられます。

一方、「十方」は、東西南北に、東南、東北、西南、西北を合わせた八つの方向、さらに上下を加えた十の方向で、空間を表します。

「時間と空間は無限である、と我々は考えています。しかし必ずしも無限ではないということも皆さんには感じていただきたいと思います。ドイツの哲学者ハイデガーは、「時熟」という言葉を用いて、人間の存在と時間とを考えた場合に、人間の存在が熟していくと同時に、時間も熟していくということを言っています。皆さんも時間が無限にあると思ってもらっては困ります。時間も熟していく。人間も熟していく。「三世十方」の中で、そのような見方をしてもらうことが非常に重要ではないかと思っています。

いま日本では、DX（デジタルトランスフォーメーション）が遅れているといわれています。確かに遅れている面もありますが、私はそのような状態が必ずしも大きな問題にはならないと思っています。

DXは進めてもいいのですが、気を付けなければいけないのは、AIやITなどのサイバーの世界をどんどん進めることになるということです。

AI (Artificial Intelligence)が進んでいくと、人間のフィジカル (physical) が働かなくなります。DXを進めてサイバーを活用するのはよいことですが、そこには人間とサイバーとのバランスの取れたシステムがないといけません。先ほど申しあげた「三世十方」や「四苦八苦」ということを一方では理解しながらデジタル化を進めなければ、偏った形の社会が出来上がってしまうでしょう。

社内でも、まず自分で考えること、考える力を持ってほしいと言っているのですが、各自が持っている偏見を披露してほしい、ということも言っています。間違っていてもいいから、自分で考えたことを全部出してもらうために、偏見を披露してほしいと言っています。偏見とは英語で「prejudice」といいますが、これは人間が一方向的に判断して考えたという意味の「pre + judge」から発展したものです。この「pre + judge」という言葉が非常に重要であり、偏見を大事にしないと私はいつも言っています。

科学 (science) は偏見のかたまりです。偏見 (prejudice) 、仮定 (hypothesis) 、prejudice、ここから発展して科学が出来上がっています。ニュートンも、リンゴが落ちたらどうなるだろうというところからいろいろなことを考え始めました。これはあくまで偏見 (prejudice) であり仮定 (hypothesis) です。偏見や仮定にたどり着くためには、まずは自分で考えなければなりません。AIに最初から頼ってしまっただけでは、偏見 (prejudice) も仮定 (hypothesis) も出てきません。自分で考える癖をつけてください。

学生の皆さんも、とにかくまず自分で考えてください。自分の考えが間違っていたら、お互いに意見を出し合っただけ、あるいは先生に直してもらった方がいいのです。考えずして、何でもすぐに検索してしまうのはよくありません。まず自分で考えて、それが正しいかどうかを検索するのはいいですが、わからない言葉が出てきたら、考える前にすぐに検索してしまうというのはよくありません。こういうことをやっている限り、DXは進めないほうがいいと考えています。

当社の設備投資は約400億円ですが、そのうち半分程度は海外からの設備の導入です。

ドイツはメカニカルが非常に発達していて設備を輸入しています。ドイツでは第4次産業革命を提唱し、ドイツ製の設備にセンサーをつけ、クラウドを通じていろいろなデータを直接ドイツの機械メーカーに送るということをやろうとしたわけです。これはまさしくデジタルの世界です。

そのようなことが現に起こっていますが、私は会社が持つ情報を守るために、クラウドを通して自動的にセンサーからデータが送信されてしまうということはまかりならんと考え、インターネットではなくまずはイントラネットを発達させ、社内でセンサーの機能を吸収して、そこから必要な情報だけをドイツのメーカーに送る、ということにしています。このように、デジタル化を進める場合においては、サイバーとフィジカルのバランスの取れた形を作らなければなりません。

先日の大相撲秋場所で正代関が優勝し大関に昇進されましたが、大関昇進時の口上で「至誠一貫」という言葉を使っていました。この「至誠」という言葉は、非常によい言葉です。

「五省」の中に、この「至誠」という言葉が出て来ます。「五省」とは、江田島にある海軍兵学校に掲げられている訓戒なのですが、非常によい言葉ですので紹介します。

至誠に悖るなかりしか

(誠実さや真心、人の道に背くところはなかったか)

言行に恥づるなかりしか

(発言や行動に、過ちや反省するところはなかったか)

氣力に缺くるなかりしか

(物事を成し遂げようとする精神力は、十分であったか)

努力に憾みなかりしか

(目的を達成するために、惜しみなく努力したか)

不精に亘るなかりしか

(怠けたり、面倒くさがったりしたことはなかったか)

この五つの訓戒を、海軍兵学校では夜寝る前に唱えていたそうです。敗戦後、アメリカ海兵隊が江田島に行った時に「五省」の意味を聞き、これは素晴らしいということで、英訳しアナポリスの海軍兵学校に掲げたそうです。その中の「至誠」が非常によい言葉で、英訳するとhonestの中のhonestという意味である、integrityという言葉になります。

「至誠に悖るなかりしか」とintegrityという言葉覚えておいてください。皆さんも「五省」を寝る前に口ずさんでいただき、明るく日からよく勉強し、頑張っていたきたいと思います。